

市民意識調査の結果をお知らせします

調査について

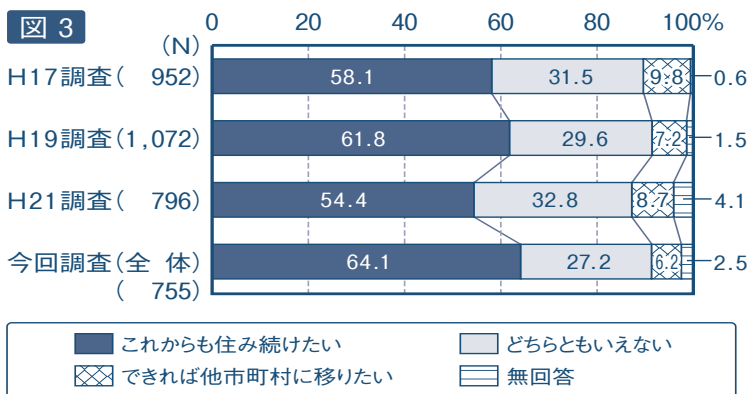
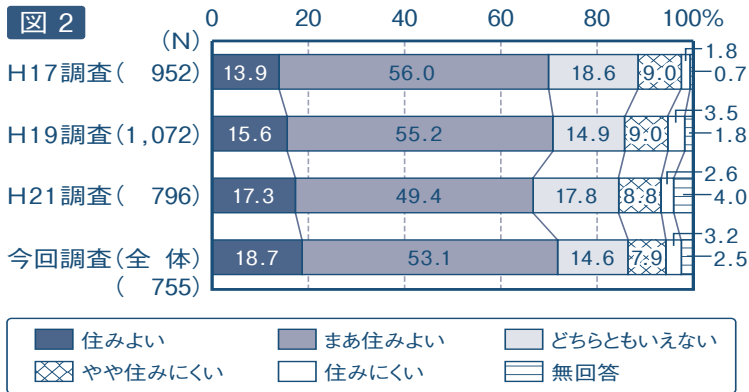
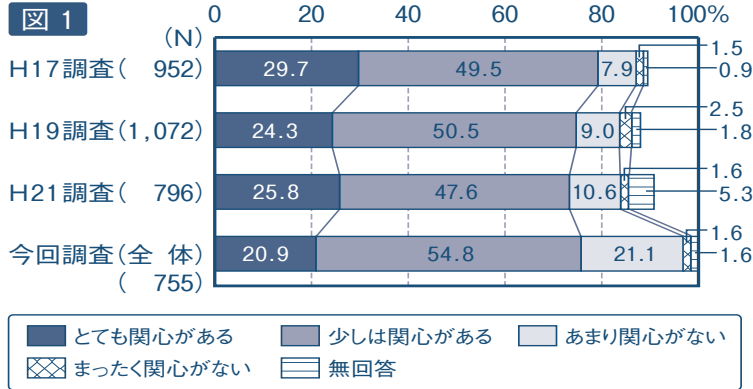
調査地域 市内全域
調査対象 市内在住の満18歳以上の
 人 2,000人
抽出方法 住民基本台帳から無作為に抽出
調査方法 郵送法（郵送配布・郵送回収）
調査期間 平成23年6月15日から7月4日
回答者数 755人（回答率…37.8%）

市では、「緑にかこまれた健康な文化都市」の実現に向けた市政運営の指針となる「第四次北本市総合振興計画後期基本計画」（平成24年度から平成27年度まで）を策定するあたり、市民の皆さんの生活や市政に関する意見・要望を把握し、基礎資料を得ることを目的に、北本市市民意識調査を実施しました。この調査の結果がまとまりましたので、その一部を抜粋してお知らせします。

◆問合せ 政策推進課政策推進担当（直通594-5503）

1 市政に対する関心について

市政に対する関心度は、「とても関心がある」が20.9%、「少しは関心がある」が54.8%と、関心があると回答の合計は75.7%となっております。過去の調査結果と比較すると、平成17年度は79.2%であったのに対し、



※(N)は設問に対する回答者数です。

し、平成19年度74.8%、平成21年度73.4%と、年々関心が低下する傾向にありましたが、今回調査では回復してきています（図1）。

2 北本市での定住意向について

住みやすさについては、「まあ住みよい」の割合が53.1%と最も高く、過半数を占めています。「住みよい」18.7%と合計すると71.8%が住みよいと考えていることがうかがえます（図2）。過去の調査結果と比較すると、平成17年度は69.9%、平成19年度は70.8%、平成21年度は66.7%で減少に転じていました。今回調査では過去を上回る結果となっております。

今後の居住意向については、「これからも（可能な限り）住み続けたい」の割合が64.1%で、過半数の人は今後も住み続けたいと考えていることがうかがえます。

過去の調査結果と比較すると、平成17年度は58.1%、平成19年度は61.8%で、平成21年度は54.4%でしたが、今回調査における64.1%は、平成17年度以降の調査の中で比較すると最も高くなっています（図3）。

